日刊（餘月曜）　昭和21年6月1日（第三種郵便物認可）　昭和24年2月23日 運輸省特別扱承認第238號　いわき民報　夕刊　昭和26年3月9日（金曜日）第1472號

いわき民報

發行所
平市田町48 電381 176 1222
いわき民報社
編集兼印刷發行人　田原登

立候補者の資格審査
十七日から受附ける

四月廿三日に施行される市長市議會議員並に三十日施行される縣議會議員立候補者の資格審査受付けは平市選務課窓口で三月十七日から二十八日まで一緒に行う、申請用紙は市選務課にある

役場と警察
江名で交換

江名町では町議會の決議に基き現在の役場廳舎を警察署に開放、警察署跡に役場が近く移ることになつた

豫防接種
十二日から

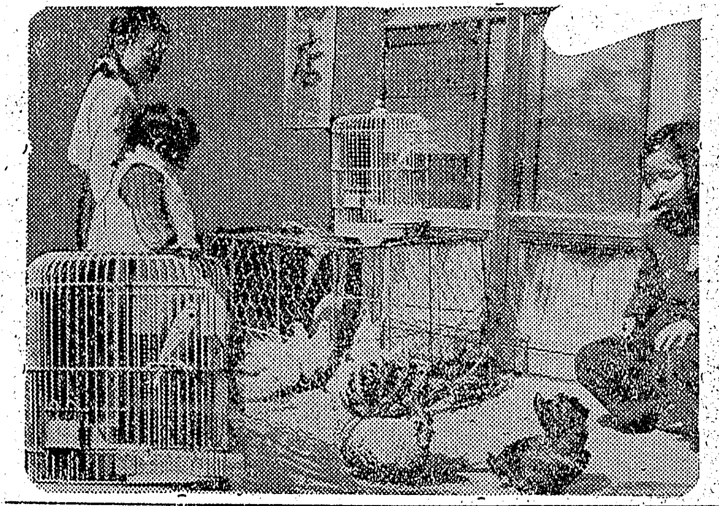
內郷町では十二日から十六日まで五日間毎日午後一時から三時まで宮小、內町小、御厩小、役場の四ヵ所で新入學兒童、卒業生並に二十五年度出産乳幼兒千五百名に對し豫防接種を實施する

志願者僅かに五名
磐高の女子生募集

教育界に新風を吹きこむものとして注目されていた磐高の女子生徒募集は二十名の定員に對し締切日までにわずかに平一中から四名、好間中から一名の申込があつただけである

平窪婦人會
總會を開く

平市平窪婦人會總會は八日午前九時から午後三時まで公民館に開催、縣教委石城出張所高木マタエ氏の『女性は餘りに遠慮し過ぎる』と題する講演の後敬老會並に小演藝會を開催した



黑澤醫院
院長 黑澤廣
小名濱町蛭川南1
（第一小學校前）
電話45番

教育の形相
刊行成る

縣教委石城出張所編纂の教育資料圖書『石城教育の形相』は着手以來三ヵ月を費して八日完成、管內谷小、中學校に配布した、同書は教育參考資料、地域、社會、兒童生徒、教職員、教育施設、教育行政教育財政、學校教育指導、社會教育等に關する事項を網羅した百五十二頁にわたる堂々たるもので表紙に金、紫、灰の三色から成るエンゼルの夢を描いた美麗なもの

櫻まつり盛大に
催し物行事を決定

「櫻まつり」の開催準備打合せ會は七日午前十時から市役所會議室に、關係者二十五名參集開いたがその結果主催は平市、商工會議所、商研、消防團後援に國鐵平營業所、平驛とし、期間は四月十日－二十日まで、行事は照明コンクール、假裝宣傳競技會、店頭裝飾競技會、演劇コンクール等で、小鍬倉神社祭りの十七、十八の兩日は市消防團が市內に屋台を繰出すがこの十日間は藝妓の手踊りは三丁目の目抜き通りに舞台をもうけて實施することに決め、平驛松ヵ岡公園にはボンボリ五百コ、提灯七百コをもつて飾り付け、二十日には縣下の猟友大會を市競輪場（豫定）に千余名の參集者を集めて盛大に催行するなどの豪華版で彩り、演劇コンクールも石城地方の學校、職場團体の參加により公會堂本館に無料公開、十四日から十七日迄の四日間は市競輪の開催期間とあつて多數の人出で雜沓を極めるだろうと早くも前人氣を呼んでおり準備を進めることになつた

救護資材の補助申請
小名濱海難救護會で

小名濱海難救護會では最近遭難事故が頻發しているにも拘らず救助作業に絶對缺くことの出來ない鋼ロープなどの資材が全然整備されていないのでこれでは困ると八日午後一時から三代會長ら幹部が小名濱町役場に集り、二十六年度新豫算に是非資材整備に必要な金額を補助してもらいたいと陳情した、尚海上保安廳は小名濱港入口に建設豫定になつている網取埼燈台（五〇〇W）の設置について町の協力を要望した

春のスナップ

○…彼岸も近ずき春は急ぎ足でやつて來る、きよう八日の午前はポカポカ暖かな陽に惠まれてウグイスの鳴く聲も聽かれ梅花も數日來の雨で競つて咲き出した

○…カメラマンが春氣に誘われて町に出ると、とある處で、愛がんのチャボ鳥を店先に遊ばせ子供らが餌をやつている、春の陽はまぶしい

高倉坑に出水
高階は漸く作業開始

二日午前一時ごろ內郷町白水戸部鑛業高階炭鑛高倉坑に出水があり採炭中止となつていたが必死の排水作業で六日から採炭可能となつた、完全復舊は十五日前後になる見込である出水による減炭は三百屯、尚同炭鑛高倉坑でも同日出水があり現在に至るも復舊の見込なく廢坑となる模樣、同坑の日産は六屯で各れも降雨による出水害である

挿畫發表會
十三日開く

小名濱町公民館では挿畫研究發表會を十三日午後一時から第一小學校講堂で開く、講師は同町秋島如旗氏

小田炭鑛の團交決裂

好間村小田炭鑛勞組では六日午後一時半から會社と團体交渉を開き、坑內三百八十二円坑外二百二十九円のベースアツプを要求したが、會社側では從來の三原則（現行賃金維持、賃金の賞罰制度、企業合理化）を主張途に物別れになつたが、組合では八日午後一時までの期限付で最後的返答を求め、もし回答が不滿の場合は十日一番方より無期限ストに突入する聲明を出しているので其成行きが注目されている

羊毛の集荷
あす協議會

縣販連平支所では九日午前十時より石城農業會館會議室に郡農協羊毛關係者ら約二十名が集り二十六年度春刈脂付羊毛千貫の集荷目標を目指して主要町村の集荷對策について協議する

一戸當り十五個宛
チウ君退治に配布

平市衞生課では第一回に好評を博した驅鼠劑（ネオメッソー）入れコヌカダンゴ三万個を八日、市內大通りから東側の各町內に一戸十五個宛て配布、驅鼠運動に乘り出した、十日には鐵道以北の各町內十三日は神谷、飯野、平窪方部に配り、十四日から十六日までに殺した鼠を處理することになつている

警察電話線盗難

去る三日夜から六日朝にかけて箕輪村大字大利字表面山地內の警察電話專用線（硬銅線）約五十八米が切取られているのを發見七日平地區署では嚴重取調べ中

高壓線に登り感電自殺
警察豫備隊試驗に落伍を悲觀

平市大字下平窪字竹の內三二農業小林忠（二三）さんは昨年警察豫備隊に入隊、その後同隊幹部の試驗を受けたが不合格となつたことから精神に異狀を來し去る三日實家に送り歸されていたが、八日午前三時ころ居宅東方百米の地點にある高さ十三米の高壓線鐵塔によじ登つて感電死した

馬が即死
高壓線に觸れ

七日午前十時半ごろ勿來町酒井地內の縣道で食糧配給公團勿來出張所長中山昇さん所有の馬車曳き馬が突然倒れて即死した、路上に横たわつていた東北配電の引込高壓線を踏んで感電したもので損害五万円

赤ちゃん六十名集る
十二日市公會堂で豫選

全國集團赤ちゃんコンクールに備え、平市では十二日午前九時から午後二時迄に亘り市公會堂日本間に二十五年三月生れのもの六十二名を集め優良兒十名を選定、十九日平第一方部の豫選會に出場させる

會議

▽石城方部獸醫師會總會は十一日午前十時から
▽石城地方事務所税務課の入場税特別徴收義務者打合會は十三日午前十時から
▽同經濟課の主要食糧小賣と卸についての説明會は十五日午前九時から
▽石城地方事務所管內水利組合會議は十三、十六、十九の三日間午前十時から－各れも地方事務所會議室で

女風呂に侵入
勞務者あがる

七日夜八時ころ內郷町內町字前田四四自由勞務者吉田武雄（二二）は酔つぱらつて同字地內常磐炭礦西區共同浴場女風呂の硝子（十一枚）を破つてらん入し大騷ぎを演じ、ことが判り內郷町署へ

十五名に收監狀
罰金を未納で

平區檢では昨年分の罰金未納者である田人村大字石住字貝屋三五農業吉田定雄（二二）＝煙草專賣法違反で罰金四万九千円＝ら十五名に對し八日收監狀を發した

簡易な金融
趣味の貯蓄
日掛預金は
大東無尽

大火五十周年
鍛治內部落で祈禱

平市下平窪鍛治內部落では明治三十六年二月十日（舊）に大火が發生、部落全燒の災害を招いたが八日がその五十周年に當つているので同日午前九時から同部落木田源六氏宅に當時の在存者らを招き再びこの災害を起さぬよう部落民こぞつていましめ合い祈りを捧げた

中學生の砲金泥

內郷町綴字七反田中學生吉川某（一三）は去る二十三日午後六時半ころ同町綴字濱井場常磐製作所の板戸を破つて忍び込み砲金屑（三貫）二千五百円相當を盗み六日內郷町署へ

スコップで殴る

好間村北好間字上屋敷諏訪俊雄（二四）は去る一月三十一日午前十時ごろ同村中學校整地工事現場で同日雇渡邊松治（四七）さんと口論の末、スコップで渡邊さんを殴り左肩骨折全治二ヵ月の重傷を負わせたことがわかり七日平地區署に捕まつた

赤痢

勿來町字四澤採炭夫天野春治（三七）さんは六日細菌性赤痢と決定、隔離

天氣予報
八日

【今晩】北寄りの風良い天氣、一時雲多く冷込む【明日】南寄りの風一時やや強く後晴薄曇、海上はおだやか明日から南風により高浪となる故漁船は注意

御入學
の御用意を！
ランドセル
學生帽
學生服
セーラー服
平市銀座
藤越
電話 1280－2

泡たちと硬さで
いつも家庭の人氣者
品質優良
ホーム石鹸
小名濱町榮町
箱崎雅也
電528

內科小兒科　高萩浩
產婦人科　高萩桂次郎
高萩醫院
內郷町綴驛前電（綴）十一

長らく御不便をかけましたが今後は左記荷扱所を御利用下さい
平＝中村　白石　原釜　大河原＝仙台
特急　急行　普通便
－（切取つて電話器の傍におはり願います）－
平和貨物定期
電話（平）二一八八番（イイヤヤ）
集荷 配達 迅速確實
連絡 貸切
平市中町二〇（公會堂前）
平和貨物平荷扱所

募集
○職種 編集部校正係 ○資格 平市內在住今年度新制高校卒業又は同等の學歴を有する女性 ○待遇其の他委細面談○履歴書持參來社下さい
いわき民報社
平市田町四八電二一二二

濱の話

（小名と四倉の思い出）（下）

吉屋貞一

この町にセメント會社が出來て成績を擧げはじめた頃の岡田工場長は額の廣い、先生のように見えるタイプだつたから『岡田さんは學者になつていたら博士は適確だと思いますね』といつた所ただ『そう見えますか』と靜かに目を細くしただけであつた。近來は各地で工場誘致の運動が叫ばれているにつけても、小名の日素とか磐城セメントは中央の事業家が着目したものかそれとも誘致か知らぬけれどセメントの創設には木村淸治さんなど地元人の協力があつたそうである

萬年瓦の製造もぽつぽつ起つていたようで夏になるとあの長い町通りにカツオ節が干され、節を磨く時のカビが暑い大地をはい廻つているのを見かけた。書き入れ時の夏も過ぎ、秋を送つて、冬の淋しい濱も早春を迎え、餘寒のこびり付いた二月末の或る日のこと、ぶらりと海氣館という町はずれの山を負うた宿に出かけて二、三日泊つたがこの家は主人公はじめ皆明朗であつた。まだ冬の彩りをたたえた鈍重の波の動き、鉛色の雲が水平線にたれこめ、小舟一つ浮ばぬ港の景も格別な底味を持つものであろう。泊り宿も少なくガランとした冬の宿の閑靜に飽きると、帳場に近い爐端に出かけて家人達と話を交わした

この宿の娘さんからも話されたことであるが四、五丁離れた貸別荘に女子大生の姉妹が保養がてら滯在しているそうで、妹さんが一寸体の調子が惡いため姉さんが世話しながらの旅らしい。ある朝の事勝手のイロリをめぐつて話し合つたとき、おばさんが『別荘の娘さん達がひまで困つているから、遊びに行つて御覧なさい』としきりに勸められたので『胸の方が惡いのかい』とたずねたところ『絶對そんな心配はありません、毎日娘に食料を運ばせているんです』との返事でもあり、娘を案内させるからとの誘いに應ずる氣になつたが『寒いから其ドテラを着ていらつしやい』といわれ、そのままに波立藥師の方角をさして、娘さんの後から細い岩の間の路をたどる。二間か三間らしい、小さい家の玄關を訪れる、かねて話を聞いたか姉も妹も現われ驚いた風もなく『よく、いらつしやいました』と如才ない挨拶ぶりで座敷へ通された

宿から借着の大漁祝いのドテラを脱ごうとすると『どうか其まま結構ですから』といわれたので魚やタコの染め抜きのある二重廻し代用の前を合せながら『裾模樣で御免蒙ります』と座に着いて床の方を見れば梅か何かが生けてあつた。『あれは何流ですか』と問えば『別に流儀はありません、投げ入れただけなんです』『自然流ですかな』という話から始つて、姉妹こもごも花に就いて好む所を語つた後で『若い娘どきは花のようなもので、お化粧などと騒がずとも、天然の美しさがあるでしょうが』と私が理屈論を持ち出し、鉛毒の恐るべき事柄を抑えてお白粉（當時は未だ無鉛お白粉普及せず）をけなした樣な話をすると『然しお化粧は適當にする樣な婦人が萬事の繰りまわしが上手かと思います、身だしなみは大切でないでしょうか』と微笑しながら反撃に出られたので、ふと御兩人の顔を見ると薄化粧の手さばき見事なもので、髪も品よく束ねてあつた。

この二人の姿と無雜作に髪を伸ばした一書生は面白いコントラストであつたらしい。はては文學や哲學の話題に及んだので、相當の讀書家だと觀察したから『何か本があつたら借して呉れませんか』と頼んでみた。彼女は『そうね本箱を見られるのは魂をのぞかれるようだわ』と笑いながら次の間に行つた、五、六冊の新刊を持ち出して來たのでその中からメチニコフ博士（ロシヤの生物學者）の『生命論』と外に一冊を借りて、鯛の鹽燒きなど珍味の御馳走になつて半日を過した。數年前に宿の人と其話が出た際に當時の姉妹は何れも他家に嫁して元氣だとの事で今の前交通公社の總裁（元鐵道省觀光局長）新井さんの近親者と敎えられた。往事まことに、夢よりも淡し、人間というものは氣儘にまぼろしの糸を吐いて繭をつくる生き物であろうか

損害千六百萬圓

過般の風水害被害

去る一日石城地方を襲つた風水害（連續降雨量六十五ミリ）による平土地改良事務所管内に於ける氾濫、決壞、流失、冠水などの被害は水田約八百九十二町歩、損害千六百万円に上る見込で主なる被害は△豐間町字町田地内の溜池（高さ五米、巾三米、長さ八十四米）一箇所氾濫、灌漑水の冠水、流失十八町歩損害約八十万円△同町内ノ草地内溜池（高さ四米、巾三米、長さ八十米）水田十五町歩、損害約九十万円△同町沼之内地内の水路百七十米（巾一・五米）十五町歩、約六十万円△同町沼之内地内の農道（橋梁一箇所を含む）＝巾三米、長さ二百五十米＝五十万円△好間村字川中子地内の愛谷江筋（水路百五十米、巾三・六米）五百四十町歩、七十五万円△高久村字宮田地内の水門一箇所（高さ三・五米、巾一米、長さ七米）二十五町歩五十万円△草野村字表川地内の畑二町歩、冠水土砂流失減收三十石に上る見込四十万円△上小川村字川原前地内の水田四町歩砂れき流入減收廿石に上る見込、八十万円△上小川村字川原前地内の農道二百米（巾三米）五十万円△三阪村下三阪地内の江堰一箇所五十万円▽大野村字戸田地内の農道（橋梁一箇所を含む）六十五万円▽好間村字上好間地内の水路九十米（巾一・五米）二十五町歩五十万円▽赤井村字江田地内の水路七十米五十万円▽小名濱町字林城地内の溜池一箇所、十五町歩三十万円▽勿來町字四ツ澤地内の水路八十五米、四十町歩八十六万円▽植田町字植田地内の水路百米二十町歩八十万円▽植田町字後田地内の江堰一箇所、二十町歩六十万円▽勿來町字窪田地内の溜池一箇所、六十町歩百二十万円▽川部村字沼部地内の橋梁一箇所、八十町歩三百八十万円▽澤渡村字下市萱地内の水路五十米、十五町歩五十万円となつている、尙同所では早急なる復舊工事を行うべく計畫を進めている

警官と協力者表彰

小名濱町署三周年を祝賀

自治警察發足三周年記念日を迎えて小名濱町では七日午後一時四十分より町署會議室に記念式を擧行した、先ず小泉公安委員長の挨拶あつて表彰式に移り同委員長より【優良警察官】△警部補渡部富男△巡査部長高橋武信【永年勤續者】△三十年以上、巡査猪越芳松△二十年以上巡査櫻井忠吉、同菊地作次郎にそれぞれ金一封並に記念品をつけて表彰、續いて民間協力者の△製材業瀬澤松儀△日本水素守衞長合川義江△熊田晉雄巡査妻熊田きんの三氏に鈴木署長から金一封をそえて感謝狀を贈呈、水野町長、菅原議長、太田警察後援會長らの祝辭があり終つて鈴木署長から署員を代表謝辭をのべささやかな祝賀宴に移り幕を閉じた

江名の舗装工事着手

江名町南町から同町北町にわたる縣道江名—平線（全長五百六十米）の舗装工事は七日から二十五年度工事として日本舗道會社の請負いで着手される、總工費二百五十二万円完成は三月三十一日の豫定

衞生主任會

十三日開く

平保健所主催の石城郡下衞生主任會議は十三日午前十時から地方事務所會議室に開く、二十六年度結核豫防事業について打合せる

雨天体操場や住宅建設

湯本土木委で協議

湯本町土木委員會は六日午後一時から役場會議室に開催、湯本中學校雨天体操場を總工費百八十五万円（一〇八坪）で五月三十一日竣工豫定で着工、消防屯詰所を成田山下、公民館前に工費三十五万円で新設、校長、職員、警察署員住宅二棟二戸を工費百十万円で吹谷地内に新築、驛前新道通り、寶海、上川地區側溝工事を工費七十万円で三月中旬着工すること等を協議正午散會した

保健婦研究會

十四日開く

石城郡保健婦研究會は十四日平公會堂日本間に開く、二十六年度の各種研究計畫について打合せる

常磐小學藝會

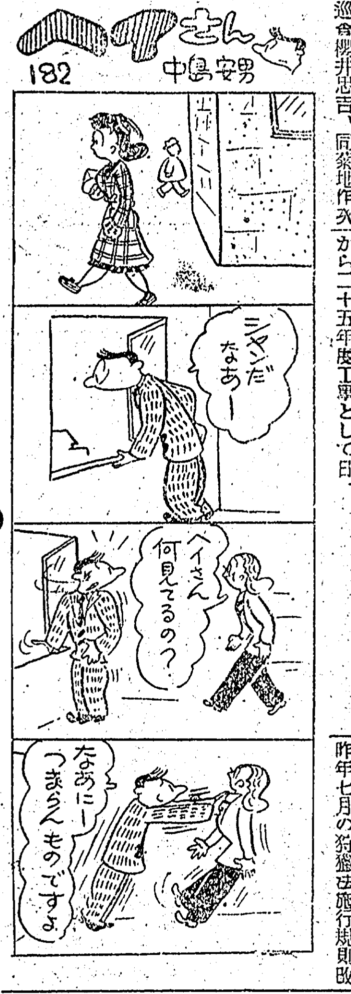
十八日に開く

湯本町常磐小學校謝恩學藝會は十八日午前九時から自治會館に先生と父兄を招待し演劇發表會を開催する

保護鳥の飼育

三月中に届出る事

昨年七月の狩獵法施行規則改正により野鳥中の保護鳥を飼育する者は總て許可を受けなければならない事になつているが、現在迄に石城地方事務所林務課に届け出たのはわずかに五十件で同課では至急届け出られることを望んでいる　註＝やまがら、めじろ、うぐいす、ひばり、しじうから等


ヘイさん
182
中島安男
シャンだなあー
ヘイさん何見てるの？
なあにーつまらんものですよ

電線泥執行猶豫

湯本町字錢貝無職菊地修作（二二）同無職海野豐治（二一）同町字台の山日雇人夫小野松雄（二〇）の三名は共謀で昨年十月中に前後四回にわたり同町常磐炭礦内の送電線七百五十米を盜んだ事件で六日平簡裁で菊地、海野は懲役一年執行猶豫三年、小野は懲役十カ月、執行猶豫三年の判決

毆つた男送檢

湯本町大字[illegible]字宿内五四無職薄羽[illegible]和（二四）は去月二十一日午後二時ごろ磐崎村大字下湯長谷字岩崎地内の道路上で同村同字磐崎礦機械係大野忠護（三六）さんに因縁をつけ顔面を毆打したことが判り七日身柄送檢

自轉車を詐取

湯本町三函七〇恐喝前科一犯無職根本淸（二五）は六日午後七時ごろ同町八仙二七鮮魚行商沼里保（三二）さんから自轉車一台二千円相當を詐取したことが判り七日湯本町署に捕まつた

七の日休み

小名理容組合

小名濱町理容組合加入者（三十七軒）では今までの定例公休日を變更し毎月七、十七、二十七日の三日と決め今月から實施

洋服盜難

内郷町宮字宮澤二炭礦運搬夫渡邊憲一（二七）さん方では五日夜ダブル背廣ほか四點九千三百円相當を盜まれた

中學生の窃盜

共謀で隣縣へ遠征

勿來町酒井字高畔二〇勿來中學三年生黑澤某（一五）同小森某（一五）同金田某（一五）の三名は共謀の上、去月二十六日午後六時ごろ茨城縣關本町關本炭鑛からケーブル線十米（三千円相當）を盜み二日同字古物商椎名武夫の妻ヨネ（四一）に千二百四十円で賣却、五日勿來町署へ捕まつた、尙ヨネも贓物故買で擧げられた

輸出向の造花講習會

各方面で歡迎さる

郡民生事業助成會連合會主催で行われた輸出向け造花講習會は六日午前九時から泉村公民館に小高町民生常任委員遠藤五郎氏を講師に各町村婦人代表百三十名の多數が參集盛況裡に好評を博し内職だけに受講者も眞劍だつたが泉村、小名濱町では早速七日からこの内職を開始することになりその他の各町村代表も指導者となり一日ザッと働いて百二十円になる綺麗な仕事だけにすぐさま宣傳普及することになつた

磐農卒業式

優等生九名表彰

磐農高等學校の卒業式は六日午前十時から多數父兄臨席の下に極めて厳粛・擧行された卒業生數は一六〇名内農業課程八三名、普通課六三名、被服課二四名で優等生に賞狀が授與された

優等生

△農業科　大平元次、鈴木長門、弓野尙佑、西山俊夫△普通科　酒井洋子、飛田チエ、宮田フサ△被服科水口篤美子、高木澄子

花見警部補昇格

植田町自治警察署長警部補花見勞八氏は五日付警部に昇格した

ラジオ　JOCP　JOHQ　【9日】ローカル　郡山放送

後七・一五　池ノ台談話室『光を求める子供達』縣郡山光寮長宮部武雄

後六・三〇　縣政便り『入場税について』縣税務課丹台正意

後七・三〇　郷土の夕（一六・二〇）『私達の圖書館』郡山圖書館長山崎義人ほか

あかやの[illegible]

[illegible]

江戸前壽司
小料理
店内改装
江戸川
平市才槌小路
電話一〇二一
電話譲りうけたし

外科
松田病院
〔入院隨意〕
小名濱町驛前通り
電四三四番

本場自慢
牛豚肉
第一綠屋
平市二丁目
電五三九番
夜も營業しております
お電話下されば早速配達
第二綠屋
平市中央通
電七九四番

富ヶ浦病院
院長　安田善一
副院長　佐藤正
部員　松生辰三郎
小名濱町　電三三

Ⓣ
ペニシリン

外科
泌尿器科
性病科
眞木醫院
眞木光邦
平市南町（六會堂通）
電話一一九五番

虫下し
優秀な『虫下し』を飲んで
蛔虫を完全に驅除しましょう
藥の御相談には
武田藥局
藥劑師　武田三郎
平市　聚楽館前
電話　七〇九番